



高橋ゆうこ県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

6月県議会一般質問

県道八街三里塚線実の口交差点



壇上で県の施策を質問する高橋祐子県議



実の口交差点

高橋議員 県道八街三里塚線と県道富里酒々井線が交差している県道八街三里塚線実の口交差点は渋滞の発生により、八街方面へ右折するの、時間帯によっては20分要する状況と、地元の方から聞いている。このような状況は、地域住民の日常生活に影響を与えるばかりでなく、交通事故のリスクも増えることが懸念される。また、この交

生まれ育った富里市の発展に力を注いでいる高橋祐子県議(2期)は6月定例県議会で登壇し、道路改良や高騰する農業用プラスチック処分費、外国人観光客を狙い成田空港周辺で横行する白タクの問題などについて、県執行部に質問しました。園芸農家にとって農業用プラスチックはなくてはならない資材ですが、近年、処分費が高騰しており、高橋県議は県補助の拡大などで農家の負担軽減を図って欲しいと県に要望しました。

渋滞解消へ改良を

差点は小学校の通学路にもなっていることから、通学児童を含め、歩行者の安全確保も踏まえて、歩道整備や交差点改良を早急に進めていく必要があると

思う。
そこだろうかすが、県道八街三里塚線実の口交差点の渋滞対策にどのような取り組みでいくのか。

県土整備部長 当該箇所

については、地元からの渋滞対策に対する要望もあり、本年4月に交通量調査を実施しました。

調査を行った結果、県道富里酒々井線を八街方面へ

右折する車両により、朝夕の時間帯に渋滞している状況を確認したところです。この交通量調査の結果を踏まえ、今年度、設計業務に必要となる地形測量に着手し、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

高橋議員 事業を進めるにあたっては、用地の取得など、地元をは

高橋県議

早期完成を要望



県道成田両国線バイパス

県道成田両国線バイパス

高橋議員 県道成田両国線は、富里市七栄地先の国道296号との交差点で、渋滞緩和を目的に、0・3キロのバイパス整備が進められているが、進捗状況はどうか。

県土整備部長 当該バイパスは、国道296号と交差する七栄東交差点の渋滞緩和を図るため、約0・3キロのバイパスを整備するもので、平成31年に車道の供用を先行して開始しました。

また、用地が確保できず、歩道や右折レーンなどが未整備となっている、南側約0・1キロについては、国道296号との交差点において、一部用地を取得できたことから、今年度、歩道

工事を実施する予定です。引き続き、地元関係者の御理解と御協力を得ながら残る用地取得を進め、早期の完成が図れるよう事業を推進してまいります。

要望

高橋議員 県道成田両国線バイパスについて、南側約0・1キロは歩道が未整備であり、歩行者の安全な通行に支障となっているため、引き続き、残る用地取得を進め、早期の完成に努めていただくよう要望する。

●県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2

TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253

じめ関係者の皆さまのご理解とご協力が不可欠。引き続き、富里市と連携し、できるだけ早く、渋滞が解消できるよう、事業を進めていただくよう要望する。

高橋ゆうこプロフィール

経歴

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校附属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年、27年富里市議会議員(2期)
- 平成31年千葉県議会議員当選
- 令和5年千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 県土整備常任委員会委員
- 県議会 環境審議会委員
- 自民党千葉県連女性局長

農業用廃プラの処分費用 農家の負担軽減を

高橋議員 千葉県は全国屈指の農林水産県であり、特に園芸振興に取り組んできた。園芸生産における農業用ハウスやトンネルの被覆材などの生産資材は必要不可欠であり、農業経営を取り巻く環境が一段と厳しくなる中で、農業用プラスチックの廃棄にかかる費用も、農業者の大きな負担になっている。

元年の料金改正により、1㎡あたり40・7円から89・6円に、生産者負担は1㎡あたり10・55円から59・6円に5倍以上も大幅に増加している。

そこで、農業者の農業用廃プラスチック処理に要する費用負担の軽減に向けて、県はどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 県では、市町村や全農千葉県本部と連携し、「千葉県園芸用プラスチックリサイクルセンター」を設置して、農業用廃プラスチックの再生処理を行っています。

そこでは、関係する市町村などで構成される協議会において、回収スキームを構築しており、県としても支援を行っているところだ。

今後、引き続き、農業用廃プラスチックが適切に処理されるとともに、農業者の負担が増加するところがないよう努めてまいります。

要望 高橋議員 県、市町村、全農、生産者それぞれの応分の負担の考えに基づいて、増加している農業者の負担軽減が図られるよう、県補助の拡大など、早急に検討を進めるよう要望する。

成田空港で白タク横行 外国人観光客を標的に

高橋議員 成田空港周辺において、白タク行為が横行しているが、白タク行為の県内の現状はどうか。

警察本部長 県警では、コロナ禍の影響により制限されていた人々の移動が回復したことなどから、主に成田国際空港における白タク行為が増加しているものと認識しており、旅行者への声かけや配車アプリを利用した外国人観光客を獲得するなどの方法で行われていると承知しています。

高橋議員 白タクの検挙状況と今後の対応はどうか。



再質問を行う高橋県議

タクシー営業に影響

警察本部長 県警では、成田国際空港等における白タク行為について高い関心を持って取締りをはじめとする各種対策を推進しており、昨年は7件、本年4月末現在で1件を検挙しております。

要望 高橋議員 白タク引き続き、積極的に事件化を図るとともに、関係機関団体と連携し、空港利用者に対する啓発チラシの配付やSNS等を活用した広報啓発活動を推進してまいります。

ストーカー事案

県警、即応体制

高橋議員 県警におけるストーカー事案への対処体制と対策はどうか。

警察本部長 県警では、平成23年に発生した当県も関わっている長崎ストーカー殺人事件の発生を受け、ストーカー事案等に対する専従体制の強化等を図り、ストーカー事案を含む人身安全関連事案を二元的に対処するため、警察本部に生活安全部及び刑事部の関係各課で構成する「県本部対処体制」を構築し、24時間体制で、事案に応じ、警察署に対する指導、助言や関係各課と連携した現場支援を行っています。

警察署においても、署長を責任者とした「署対処体制」を構築しており、認知した人身安全関連事案の全てを「県本部対処体制」に報告させ、認知の段階から対処に至るまで、警察本部と警察署が緊密に連携して迅速かつ的確な対応に努めております。

ストーカー事案を認知した場合には、加害者の検挙や警告のほか、被害者等に対する一時避難の支援や身辺の警戒、携帯用緊急通報装置の貸出しなどの保護対策を行い、被害者等の安全確保を最優先とした対処に取り組んでおります。

増加する外国人児童生徒

高橋議員 小・中学校における外国人児童生徒等への日本語指導体制の充実に向け、県教育委員会は市町村教育委員会をどう支援しているのか。

教育長 県教育委員会では、増加する外国人児童生徒等への対応は喫緊の課題と認識しており、今年度は富里市など3市を増やし、計9市に、授業を補助する支援員等の配置や、翻訳機の導入等に係る経費を助成することとしています。

日本語指導の 体制強化必要

さらに、今年度からは市町村立中学校に在籍する外国人児童生徒等を対象に、日常生活で、最低限必要な日本語やマナー等を身に付けることを目的として、オンラインによる短期集中型の指導を実施するモデル事業も開始します。

今後とも、市町村担当者

再質問 高橋議員 市町村立中学校で新たに実施する日本語指導のモデル事業は、どのような効果が期待できるのか。

てまいります。